

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月1日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	彦根市	代表者名	和田 裕行
担当者部署	行政デジタル推進課	連絡先電話番号	0749-30-6153
担当者役職	副主査	担当者氏名	中村 仁志
住所	522-8501 滋賀県彦根市元町4番2号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講師の自治体職員としての経験や、他自治体で関わられた事例等実感しやすい内容に基づき、DXの必要性について講演いただくことができ、受講した職員も我が事として認識を深めることができた。
アドバイザーへの要望事項	特に無し。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月26日	13時00分	15時30分		150
3-2. 派遣場所	会場名	彦根市役所		最寄駅	無
	所在地	滋賀県彦根市元町4番2号		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	58人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	DX推進については立ち上げフェーズにあり、庁内でもコンセンサスがとれていない。また、デジタルに関し原課に「受け手」意識が強く、主体的な取組みが難しい風土があり、DXの推進が単純なツール導入に留まる等不十分に進むことが予想される。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員への意識啓発を実施し、今後各職場において主体的に業務改善に取り組みBPRを進め、業務のあり方、進め方の見直しを行い、必要に応じRPA等のデジタルツールを用いて効率化が達成される。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	講師の自治体職員としての経験や、他自治体で関わられた事例等実感しやすい内容に基づき、DXの必要性について講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	これまでDXという思想に触れたことのない多くの職員(管理職)が、DXについて我が事として認識を深めることができ、今後全庁的にDXを推進する機運を醸成することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特に無し。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート提出期限がまだのため、現時点で分析・集計できておりません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	各職場において主体的に業務改善に取り組みBPRを進め、業務のあり方、進め方の見直しを行い、必要に応じRPA等のデジタルツールを用いて効率化が達成される。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

